

令和4年度 コミュニティ提案型まち活性化事業 活用事業のご紹介

1 はじめに

- 佐久穂町では、コミュニティ団体が主体となり企画実施する、まち活性化事業に対し、補助金を交付しています。
- 令和4年度「コミュニティ提案型まち活性化事業補助金」を活用し、コミュニティ団体が提案・実施した、まちの活性化を図る事業の概要を3つご紹介します。
- 皆さんも様々なコミュニティの一員として、ご自身のこれまでの経験や保有する人脈、蓄積されたノウハウ等をまち活性化のために活かしてみませんか。皆さんのアイデアややる気を実現するための事業の提案をお待ちしています。
- 本内容は、事業実施団体から提出された事業提案書、実績報告書等の内容に基づき総合政策課が作成したものです。

補助金の種類	補助率・限度額・補助回数
(1)チャレンジ部門 (新規設立団体向け) 「何か始めてみよう」という団体の皆さんにまちづくりへの参加のきっかけを得てもらうことが目的です。 新規に団体を設立し、事業を実施する場合は該当し、具体的には申し込み時点から起算して設立1年以内の団体を対象とします。	補助率：10/10以内 限度額：20万円 補助回数：1団体1回限り
(2)ステップアップ部門 (既存団体向け) すでに活動している団体の皆さんに、さらに力を伸ばしてもらうことが目的です。既存事業の発展や新たな事業の確立等段階的にステップアップするための取組が該当します。	補助率：1/2以内 限度額：20万円 補助回数：1事業3回まで
(3)集落部門 (区、常会向け) 佐久穂町内の区や常会が、地区の問題点や課題、将来の姿、集落で具体的に取り組むこと等検討し将来計画を策定することが目的です。地区の役員だけでなく、女性や若者を交えての計画策定が該当します。	補助率：10/10以内 限度額：5万円 補助回数：1団体1回限り

2-1 事業紹介 (1)

事業名	「あははの輪」事業
団体名	れい輪の会
団体区分	課題テーマ共有コミュニティ
事業区分	ステップアップ部門 (2回目)

事業目的

- 脳活性化や自分の体を知り、健康寿命を延ばす。
- 地域リーダーの育成を図るとともに、健康と福祉の増進及び会員相互の情報交換と地域コミュニティに積極的に参加し、子供から高齢者まで笑顔でいきいきと、年齢を重ねられるよう活動する。

事業内容

- コロナ禍のフレイル予防として、屋内では健康体操、屋外ではウォーキングなどの活動を行い、免疫力のある体を作る。
- 社協と連携し、地域サロンの講師として、脳の活性化、健康づくりや生きがいづくりにつながる様なゲームを行い、仲間との交流を深める。

事業効果

- 脳活性化や健康づくりが、健康寿命を伸ばすことにつながった。
- 各地区やサロンにも参加し、会員の連帯感や仲間意識が高まった。
- 楽しくできることを仲間と共有することで、人生が豊かになり、生きがいづくりにつながった。



リズム体操



クリスマス会

2-2 事業紹介(2)

事業名	佐久穂町ふるさと遺産収蔵館友の会
団体名	佐久穂型ふるさと遺産活用モデル R4 ～むかたんコミュニティ・社会学融合～
団体区分	課題テーマ共有コミュニティ
事業区分	チャレンジ部門

事業目的

- 地域のふるさと遺産を次世代へ継承していく。
- ふるさと遺産を知る「ローカルスタディ」の場を提供。
- 地域の団体・学校と連携して社会融合を進めていく。

事業内容

- ふるさと遺産収蔵館（むかしたんけん館）内外の美化、ふるさと遺産の修繕
- ふるさと遺産一般公開
- むかたんクラブ開講、講演会の実施

事業効果

- 足踏みミシンや薪割り、小鮎の甘露煮づくりなどの体験を子どもたちが行い、普段経験できないことに興味を持ち楽しんでた。コミュニティが広がり、ふるさと遺産を知ることにつながった。
- ふるさと遺産一般公開には、のべ 200 名ほどの参加があり、実際に見て体験することで、ふるさと遺産を次世代に継承していくきっかけになった。



足踏みミシン体験



のこぎり体験

2-3 事業紹介 (3)

事業名	ボランティア活動を通じて地域福祉に貢献
団体名	ふれあいサポート穴原・中央
団体区分	地域コミュニティ
事業区分	チャレンジ部門

事業目的

- 「互いが互いに助け合い見守り合う」地域コミュニティの醸成

事業内容

- 学童児童の見守り活動
- 歩道、公園の草刈り
- 歩道や公共施設周辺の雪はき

事業効果

- 学童児童の見守りを実施することで安心安全を提供した。公園をきれいにし、いつでも利用できる場にしたことで、子どもから親までが集い、助け合い見守りあう関係を築くことにつながった。



通学児童見守り



公園芝刈り